

平成30年度 和歌山市立砂山小学校 学校運営計画書(スクールプラン)

校長名 府中 恵理 作成日 平成30年 5月 1日

和歌山市学校教育指針

- 確かな学力の育成
- 道徳教育の充実
- 健やかな体の育成
- 特別支援教育の推進
- 不登校・いじめ問題の解消
- 子どもの安全確保の徹底
- 地域と共にある学校づくりの推進

保護者・地域の願い

- 子供の学力の向上
- 毎日子供が楽しいと言える学校に
- 優しい心をもった子供に
- 心身ともに健康な子供に
- 元気に挨拶ができる子供に

【学校教育目標】

豊かな感性と知性を身につけ、たくましく生きる
子供を育てる

【めざす子供像】

すてきな言葉いっぱい
なかよしの輪いっぱい
やる気いっぱい
まごころいっぱい

前年度の学校評価

- 元気に挨拶ができる
- 学校の様子を保護者・地域等にもっと発信してほしい
- 家庭・地域との連携を一層充実させたい

児童（生徒）の実態

- 明るく素直で挨拶ができる
- 与えられたことはきちんとできる
- 言葉遣いや友達との関わりに課題がある
- 正しく判断し自ら行動する力が弱い
- 家庭学習の定着が十分でない

重点目標

確かな学力の向上

- ◎基礎・基本の確かな定着
- ◎子供主体の授業推進
- 家庭学習の定着
- 読書活動の推進

豊かな心の育成

- ◎道徳・人権教育の充実
- ◎いじめの未然防止、早期発見
- ◎「言葉は心」をキーワードとした豊かな感性

健やかな体の育成

- ◎基本的生活習慣の確立
- ◎体力向上の推進
- 危機回避能力の育成

地域とともにある学校

- ◎家庭・地域との連携充実
- ◎幼保こ小中高の接続、校区における学校間連携の推進
- 地域と協働した教育活動

具体的な取組

- 放課後等のフォローアップを実施し、低学力の課題に取り組む
- 子供主体の授業づくりにおいて、「かく力」「関わり合う力」「活用する力」の3つの力を育成する
- 発達の段階に応じた家庭学習の手引きを活用し保護者と協力しながら学力の定着を図る
- 「575」や「めざそう読書100冊」に取り組むとともに、読み語りボランティアを活用しながら、子供の想像力を広げる

- 県作成の資料を活用しながら、道徳や人権教育を充実させるための学習に取り組む
- いじめアンケートを年間に複数回実施し、いじめの未然防止・早期発見・早期対応に努める
- 情報モラルやネット社会に潜む危険性について、保護者とともに学ぶ機会をもつ

- 「早寝、早起き、朝ごはん」を推奨し、家庭と連携して取り組む
- アウトメディアの取組を進める
- 1学期には水泳指導を充実させ、2学期以降は、休憩時間等を活用した体力づくりを全校で実施し、県チャレンジランキングにも参加する
- 避難訓練や交通安全教室を計画的に行い、危機回避能力を育成する

- 各種便り、HP等を通して積極的に学校の情報を発信するとともに、地域先達を中心に様々な機会に参画してもらう
- 砂山地区保育・教育連携協議会等を活用した、保幼こ小中高の接続、学校区での様々な連携を推進・充実させる
- 授業のゲストティーチャー、読み語りボランティア等の人材や地域の文化等を積極的に活用する

指標

- ・県学習到達度調査で基本問題の正答数が県平均を上回る
- ・子供がわかる授業、子供主体の授業実践をする(90%)

- ・いじめのない学校づくりをする(100%)
- ・県資料を活用した道徳・人権教育を行う(90%)
- ・様々な分野の学習の場で保護者とともに学ぶ機会をとる(80%)

- ・「早寝、早起き、朝ごはん」に家庭で取り組むとともに、全校で体力づくりをする(100%)
- ・避難訓練を年3回計画・実施する(100%)
- ・テレビやゲームの時間を短縮できるとよう家庭と連携して取り組む(90%)

- ・学校の情報を発信し、子供たちの活動の様子等を保護者と地域に伝えられるようにする(90%)
- ・校区で接続、連携の充実に向け、実践する(90%)

◎：特に重点的に取り組むこと